



○タイピング練習が始まりました

iPad用のキーボードのご準備、ありがとうございました。

さっそく今週から授業でタイピング練習を始めました。タイピングは、大人になったときに役立つスキルの1つですが、実は学校教育の中では、時間をとって練習する機会はありません。

ISOLANではICTに力を入れ、昨年度、一昨年度とタイピングコンテストを開催しており、子どもたちのタイピング能力と習得意欲は相当高く、昨年度のSOLANの2年生の最高記録は、1分間で180文字でした。（2022年の調査で中学2年生の平均タイプ数が1分間で60文字だったそうです）

今年度の2年生も、タイピングコンテストの表彰式を見たことが影響しているのか、最初からとても意欲的に練習に取り組んでいました。この調子で練習を続けることで、大いにタイピング能力が向上していくことでしょう。



【15分間集中して練習に取り組む児童】

○使用しているアプリ

現在、L-Gateに入っている「プレイグラムタイピング」というアプリを使って練習しています。ホームポジションが分かりやすく、速さだけでなく正確さも伸ばすことができ、ローマ字の習得も同時にできるため、初めてタイピングを始める2年生の子どもたちにぴったりです。

特にローマ字は、小学3年生の国語で学習しますが、本来かなり苦勞する子が多い内容です。2年生のうちに、タイピングスキルを身に付けながら自然とローマ字学習をすることができるので、一石二鳥です。

また、アプリに対応したチェックシートを作成したので、初めての子もすでにかかなりできる子も、成長を実感しながら取り組むことができます。



練習モード：指示通りにタイプできると合格。次々にレベルアップしていくのがとても気持ちよいです。

むらい先生は、レベル：むずかしい
 スコア：343 正解タイプ数：46
 ミスタイプ：0
 はやさは3.94タイプ/秒
 でした♪

とっくん

レベル	スコア	正解タイプ数	ミスタイプ数	はやさ
かんたん				
ふつう				
むずかしい				
かんたん				
ふつう				
むずかしい				
かんたん				
ふつう				
むずかしい				

特訓モード：「かんたん」「ふつう」「むずかしい」から選び、記録を測ります。記録を書き残すことで、前回の自分を超えようという意欲がわきます。

○タイピングがどう学習に役立つのか

タイピング力を高めることで、学習の振り返りや作文の記述量が大幅に伸び、学習活動の質と量が向上します。今後の学習のために、2年生の第1Qでは、集中してタイピング練習に取り組んでいきます。

もちろん鉛筆で紙に書くことでこそ高まる記述力もあるので、その力は、「書くスキル」の授業で育てていきます。